

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	井上昌二

開催日時	令和7年2月14日(金) 10:00～11:00
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	栗山会長(太子橋小学校校長)、石山委員(町会長)、中委員(PTA代表) 赤坂副会長(今市中学校校長)〈書面審査〉
出席者(学校)	井上校長、上野事務長、紙野教頭、掛田教頭、村上首席、大場首席、 酒井友行首席、酒井康次首席兼部主事、正木部主事、水江部主事
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度 学校経営計画及び学校評価(達成状況)</li> <li>・令和7年度 学校経営計画(めざす学校像及び中期的目標について)</li> <li>・学校教育自己診断集計結果</li> <li>・学校教育自己診断の結果分析と課題について</li> </ul>

議題等(次第順)
<p>1 校長あいさつ</p> <p>2 議案</p> <p>(1)令和6年度 学校経営計画 達成状況について</p> <p>(2)令和7年度 学校経営計画 めざす学校像及び中期的目標について</p> <p>(3)令和6年度 学校教育自己診断結果と分析について</p> <p>(4)その他</p> <p>3 事務連絡</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p><b>2 議案</b></p> <p><b>(1) 令和6年度学校経営計画について(達成状況報告) 井上校長より報告</b></p> <p><b>1 安全安心な学校生活を送る体制をつくる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット報告をより現場で活用できるよう焦点を当てて次年度以降取り組んでいく。</li> <li>・防犯実地訓練にてマニュアル通りにいかない場面があったため、有事に、より活用できる内容に随時更新していく。</li> </ul> <p><b>2 特別支援教育のセンター的機能を発揮し、開かれた学校づくりを推進する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほぼ日刊思斉ニュース」保護者よりアンケートをとって、より充実したものをつくっていく。また、児童生徒が記事に関わる取り組みも考案している。</li> </ul> <p><b>4 小学部中学部高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、区役所へ出向いて周辺清掃と自転車の整備を実施。更に連携を進めたい。</li> </ul> <p>&lt;質問、意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>◆令和6年度学校経営計画について(達成状況報告)、委員全員の承認を受ける。</p>

## (2)令和7年度 学校経営計画(めざす学校像及び中期的目標について) 井上校長より説明

・「めざす学校像」は変更なし

・中期的目標は新たな3年間の目標として5つの柱を設定した。それぞれの説明は以下。

### 1 児童生徒が安全安心な学校生活を送る事ができるよう体制を整える。

・「防災、防犯学習」という文言を追加し、強化していく。

・「いじめ、ハラスメント」という文言を追加し、取り組みの充実を図る。

### 2 児童生徒及び保護者のニーズに応じた教育活動が展開できるよう教職員の専門性を高め、資質の向上を図る。

・研究部、自立活動主任を中心に研究授業、研究協議及び自立活動を充実させ、授業力向上に努める。

・福祉関係機関等、関係外部機関との連携を強化し、包括的な支援の充実を図る

### 3 特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域との連携強化による総合的な支援体制を充実させる。

・地域の学校園に、特別支援教育に関する専門知識や技術等を共有し、子どもへの支援の充実を図る。

・交流及び共同学習の充実を図り、相互理解を深める。

### 4 小学部・中学部・高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。

・「社会的・職業的自立」「豊かな学びと経験」という文言を追加。

・令和8年度に向け高等部職業コースのカリキュラムや授業展開を見直す。

### 5 学校教育活動全般及び学校経営・運営の全般において、ICT の積極的・効果的な活用を推進する。

・児童生徒が加害・被害にあわないために「情報モラルの育成」を図る。

・教職員の多様な働き方を支援するなど、働き方改革を進める。

#### <質問、意見>

(中委員) PTA としては、安心して通わせることができる環境だと感じる。保護者のニーズとして、高等部の卒業後が心配だという声が多い。進路の選択肢も増えているので、学校から提案してもらえるとうれしい。

また、「学校ではうまくいっているが、デイサービスではうまくいかない」といった保護者の声を聞くことがある。学校と放課後等デイサービスとの連携がもっとできれば解消できるのではないか。福祉との連携を図れたらもっと良いかと思う。

(酒井こ首席) 卒業後の選択肢は増えてきている。進路指導部の教員を中心に、生徒に合った選択を提案している。進路先の開拓にも力を入れているので、ニーズに合った情報を提供できるように頑張っていきたい。

(栗山会長) 4-③職業コースのカリキュラムについて具体的な案があれば知りたい。

(酒井こ首席) 思齊の売りとなるセールスポイント、特徴はこれです。というものを考案できればと考えている。

(栗山会長) 子どもたちの対応が難しい場合は外部連携されていると思うが、具体的にどのような関係諸機関とのどんな連携をしているか。不登校への対応はどのようにしているか。

(酒井友首席) 区の子育て支援室との情報共有に加え、相談支援事業所との連携を強化することで、課題の検討や解決、福祉サービスの活用がスムーズに行えるようにしている。不登校においても同様に、児童生徒及び家庭の支援を行うことで改善につなげている。

◆令和6年度学校経営計画について(達成状況報告)、委員全員の承認を受ける。

## (3)学校教育自己診断結果と分析について 村上首席より報告

### 保護者アンケートについて

・回収率は去年と同じくらいで、全体として、肯定的意見が多く良い結果が出たと考える。

### 児童生徒アンケートについて

- ・回収率は去年と同じくらいで、児童生徒や代筆する保護者より、回答に「わからない」がほしいという意見があったため、アンケート項目の見直しを検討する。
- ・否定的意見が多い項目は4つ。継続的な課題として受け止めている。

#### 教職員アンケートについて

- ・回収率は100%。肯定的回答が90%を超えるのが21項目と昨年比より大幅にアップした。中でも今年度の重点課題とした防災教育に関する項目は18%アップした。組織的な運営を継続していきたい。
- ・ヒヤリハットに関する項目がややダウンしているため、課題ととらえる必要がある。

#### 改善策として、以下2点を次年度の重点課題として取り組む

- ・ヒヤリハットを有効に活用し、児童生徒の安全指導に役立てる策の検討。
- ・各分掌や各学部、学年間の連携を円滑に行い、うまく機能できるようにする策の検討。

#### <質問、意見>

(栗山会長) 児童生徒のアンケートについて、めざす学校像とリンクさせてわかりやすく、アンケートを作られている。どういう学校、児童を目指すかを念頭に置き、質問をつくるのが大事だと思う。本校では、いじめのない学校づくりのため、いじめについての質問も設定している。気になったのは、「校長先生の話はよくわかる」に、否定的意見が多いので、小学1年生から6年生までが理解できる話し方を私自身も気を付けなければならないと感じた。

(井上校長) 本校は小学部1年生から高等部3年生まで在籍しているため焦点をどこにあてるかが難しい。

#### (4)その他

- ・学校運営協議会への意見書の提出がないことについて報告。
- ・『大阪府支援学校ものづくり大賞』にて高等部1年生の『卓上織機で制作したネックストラップ』が、オリジナル賞を受賞したことの報告。